

神奈川県立金沢養護学校



学校だより

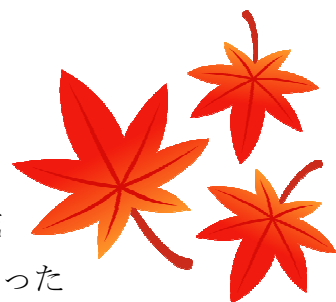
第 127 号 平成 29 年 10 月 30 日

創立十周年を迎えます

～11月17日記念式典～

副校長 相川 修一

秋もぐっと深まってきました。本校の木々も冬支度です。



さて、本校は鎌倉養護学校並木分教室を前身としています。長らく磯子区金沢区等臨海部には養護学校がなく、横浜南部地域の子どもたちは遠くまで通っていました。統合されて使わなくなった東金沢高校の跡地に、金沢養護学校を新設することになりましたが、少しでも早く開設をとの要望を受け、同じく使われなくなった並木第3小学校の校舎をお借りして、平成19年4月に知的障害教育部門のみで仮開校しました。その翌年、平成20年4月に現在地に完成した新校舎に移動し肢体不自由教育部門・知的障害教育部門併置の特別支援学校として本格開校しました。平成23年4月からは、県立氷取沢高等学校内に分教室を設置し、より幅広く支援教育を担いながら今日に至っています。

この10年間の内に、地域の皆様からさまざまなご助力をいただきました。ご近隣の皆様、登下校での見守りボランティア、学校行事や水泳授業での支援ボランティアの皆様をはじめとして、シーサイドラインの駅員の皆様、校外学習でたびたびお世話になっているベイサイドマリーナや横浜ビブレの皆様にも、一方ならぬご支援をいただいております。

近年は、鳥浜の工業団地の皆様からなる「横浜金沢団地協同組合」様から、高等部生徒の活動の場の提供や、花植活動において特別表彰をしていただくなど、大変お世話になっています。特に「海洋電子工業株式会社」様には物心ともにご支援をいただき、大いに教育活動を充実することができました。

11月17日の本校学園祭「金沢フェスティバル」に先立ち、ささやかながら創立10周年記念式典を執り行い、地域の皆様に感謝申し上げる所存です。

この欄を借りて、あらためて地域の皆様に厚く御礼申し上げるとともに、今後とも特別に支援が必要な子どもたちのためにご支援ご助力を賜りますようお願い申し上げます。